

# みどりの風



## おちやのたね

- ・おおらかに
- ・チャレンジ
- ・のびのび
- ・ただしすがた・たすけ合う
- ・ネバーギブアップ



令和5年10月31日 校長 池田 誉

## 10/17参観日・PTA人権講演会

10月17日(火)の参観日・PTA人権講演会にはお忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。

授業参観では、1・2年生は道徳、3・4年生はそれぞれの学年に分かれて算数、5・6年生は道徳の学習を見ていただきました。ペアやグループでの対話的活動や、保護者の方と行う活動もあり、それぞれの学年で児童が楽しく学習に取り組む姿を見ていただけたと思います。



竹内さんの講演の様子

PTA人権講演会では、竹内清文さんを講師にお迎えし、「周りとしがっても大丈夫～LGBTQ・いろいろな性～」の演題でご講演いただきました。

竹内さんは、自らが性同一性障害の当事者で、各地で性の多様性や性的少数者への理解を広める活動をされています。服装からもわかるようにピンク色が大好きな竹内さん。一人一人好きな色や趣味がちがうように、体と心の性がちがうことも個性であると、小学生にもわかりやすく話してくださいました。「周りとしがってもだいじょうぶ」「自分らしく」「好きなことは宝物」「一人一人大切な人」という言葉に参加者に残してくださいました。

児童にとっても多くの学びがあったようです。以下に感想を紹介します。

- ・ 周りのことをあまり気にしなくてもいいんだなと思いました。私も竹内先生みたいに英語がしゃべれるようになりたいです。
- ・ YouTubeで竹内先生のダンスを見てすごいと思いました。服がかわいかったです。
- ・ 人としがってもだいじょうぶなことがわかりました。自分が好きなことは宝物だということもわかりました。
- ・ 女子でも男子でも区別しなくていいことがわかりました。今まで女の子だけで遊ぶことが多かったので、知ることができてよかったです。
- ・ 体は女だけど心は男の人、体は男だけど心は女の人など、いろんな人がいることがくわしくわかりました。ぼくは、そういう人を変とか言うのは絶対にいけないと思いました。
- ・ 竹内先生は男なのにどうしてピンクが好きなんだろうと考えていました。でも、これでわかりました。みんな自分らしくいればいいことがわかりました。
- ・ 「だれでもトイレ」というのがあることを聞いてびっくりしました。
- ・ ぼくは自分らしさを全部は出せていなかったけど、LGBTQのことを知って、自分らしく生きていいんだと感じました。
- ・ わたしは男女は関係ないということは少しわかっていたけど、竹内先生のお話でよくわかりました。一番じっくりきたのは服の話です。お兄ちゃん・お姉ちゃんどちらのお下がりを着てもいいとわかったので安心しました。
- ・ ぼくはたまに(周りの人から見たら)しょぼい(と思われる)遊びをしたことがあります。そのとき、こんな遊びしてもいいのかなと思いました。でも、竹内先生のお話を聞いて、自分らしくしたらいいんだと思いました。
- ・ レインボーフラッグのそれぞれの色のように、いろいろな人がいるということがわかりました。それぞれの人が大切だということもわかりました。



1・2年生道徳の様子



3年生算数の様子



4年生算数の様子



5・6年生道徳の様子

## 避難訓練・防犯教室を行いました

10月2日（月）に、真庭警察署スクールサポーターの白飯さん、月田駐在所の池上警部補においでいただき、不審者対応の避難訓練と防犯教室を行いました。

避難訓練は、職員玄関前に不審者が現れたという想定で、児童を安全に避難させ、教職員で連携して不審者を取り押さえる訓練をしました。児童たちは落ち着いてスムーズに避難することができました。

その後、体育館で防犯教室を行い、代表児童によるロールプレイをもとに、下校途中や校外学習中に不審者に声をかけられた時の対応の仕方を練習しました。

毎年行っている訓練ですが、いつも不審者の動きを予測したり、取り押さえたりすることの難しさを感じます。日頃の備えを大切にするとともに、児童、教職員ともさらにレベルアップしていきたいと思います。



## 富原小学校はいつ生まれた？

富原小学校はいつ生まれ、どのような歴史をたどってきたのでしょうか？  
校長室の耐火書庫に「学校沿革誌」という文書があります。毎年の主な出来事を記録したもので、ずっと昔から今に至るまで歴代の校長が年ごとに書いています。

その中で一番古い記録を探してみると、明治23年4月に「尋常井原小学校と称し、井原村大字岩井谷に設置し、大字月田本に分教場を置く」との記述があり、4つの学校を統合して尋常井原小学校となったと記されています。

しかし、創立が明治23年（1890年）というのは遅すぎるように思いました。明治政府は明治5年（1872年）に学制を發布し、日本での義務教育が始まりました。それを受けて全国各地に小学校が作られました。（この数年のうちに創立150周年を迎える学校が多いのはそのためです）古呂々尾中（旧富山村）にあった富山小学校も明治7年（1874年）創立なので、同じ頃に今の富原小学校がある旧井原村に学校がなかったのは不自然です。

そこで、「富原村史」（昭和36年刊行）を調べると次のような記述がありました。

「本校（富原小学校）は元尋常井原小学校の後であって、その淵源にさかのぼれば、当初後谷、月田本、若代、岩井谷、上、岩井畝以上6ヶ村の内、後谷、月田本、若代、上、4ヶ所に学校を設置し、校舎は各寺院を代用したのであった。のちにこの4校を合併して、岩井谷村に新成小学校を設置し、校舎を新築して、通学区域は、若代、岩井谷、岩井畝、上、以上4ヶ村とした。同時に後谷には簡易小学校を設置し、校舎には桜本寺を充当した。通学区域は、後谷、月田本の2ヶ村であった。」

この記述から、富原にはたくさんの学校があったことがわかります。しかし、学校がいつできたのかはわかりません。そこで「勝山町史・後編」（昭和57年発行）を調べてみると、次のように書かれていました。

明治 8年 自新小学校と称し、若代村に開設

明治11年 上村 成徳小学校を合併し岩井谷村に新築し、新成小学校と称す

明治22年 合併により井原村設置

明治23年 後谷簡易学校を合併し、尋常井原小学校と改称し、岩井谷6番地に置く。月田本に分教場を置く

これで、富原小学校の生まれた年は、明治8年（1875年）であることがわかりました。今年（2023年）からさかのぼること148年の長い歴史を持つ学校です。ということは、再来年2025年（令和7年）が創立150周年の年です。その記念すべき年に向けて、今までの歴史を振り返りつつ、未来に向けての展望を描いていきたいと考えています。学校だよりでも時々お伝えしていきたいと思います。

学校沿革史の一部

